

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年4月30日(2010.4.30)

【公開番号】特開2008-233293(P2008-233293A)

【公開日】平成20年10月2日(2008.10.2)

【年通号数】公開・登録公報2008-039

【出願番号】特願2007-69970(P2007-69970)

【国際特許分類】

G 03 B 21/10 (2006.01)

G 03 B 21/14 (2006.01)

H 04 N 5/64 (2006.01)

【F I】

G 03 B 21/10 Z

G 03 B 21/14 D

H 04 N 5/64 5 0 1 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月16日(2010.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

開放された前面にスクリーンが取り付けられた筐体内に、光源からの照明光をライトバルブにより変調し、投射光学系により前記スクリーンの背面に拡大投射する投射ユニットを備えており、前記投射ユニットより投射される光線は、前記投射光学系の一枚或いは複数枚の反射ミラーを介して、前記スクリーン背面に対して、画像の中心を通る光線である中心光線が90度以外の角度で入射する背面投射型表示装置において、

前記投射ユニットは投射倍率補正部材に搭載されており、

前記投射倍率補正部材は、第1の部材と第2の部材とを有し、

前記第1の部材は、前記中心光線と平行な方向へ移動させての前記第1の部材の取り付け直しを可能にする第1の補正機構を介して筐体に取り付けられており、

前記第2の部材は、前記投射ユニットから前記反射ミラーを介さずに拡大投射された結像面の法線と平行な方向へ移動させての前記第2の部材の取り付け直しを可能にする第2の補正機構を介して前記第1の部材に取り付けられており、

前記投射ユニットは前記第2の部材に取り付けられていることを特徴とする、背面投射型表示装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記した背景技術の課題を解決するための手段として、本発明の背面投射型表示装置は

開放された前面にスクリーンが取り付けられた筐体内に、光源からの照明光をライトバルブにより変調し、投射光学系により前記スクリーンの背面に拡大投射する投射ユニット

を備えており、前記投射ユニットより投射される光線は、前記投射光学系の一枚或いは複数枚の反射ミラーを介して、前記スクリーン背面に対して、画像の中心を通る光線である中心光線が90度以外の角度で入射する背面投射型表示装置において、

前記投射ユニットは投射倍率補正部材に搭載されており、

前記投射倍率補正部材は、第1の部材と第2の部材とを有し、

前記第1の部材は、前記中心光線と平行な方向へ移動させての前記第1の部材の取り付け直しを可能にする第1の補正機構を介して筐体に取り付けられており、

前記第2の部材は、前記投射ユニットから前記反射ミラーを介さずに拡大投射された結像面の法線と平行な方向へ移動させての前記第2の部材の取り付け直しを可能にする第2の補正機構を介して前記第1の部材に取り付けられており、

前記投射ユニットは前記第2の部材に取り付けられていることを特徴とする。